

## 投球制限ガイドライン

投手の投球回数に関しては、「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」に基づくものとする。

- ① 1日最大 80 球以内とし、連続する 2 日間で 120 球以内とする。連続する 2 日間で 80 球を超えた場合、3 日目は投球を禁止する。  
ダブルヘッダーで投球した場合は、2 試合の合計投球数を 1 日の投球数とし 1 日最大 80 球まで認め、翌日は最大 40 球(ダブルヘッダーも可)まで認める。
- ② 3 日間連続して登板する場合は、1 日の投球数を 40 球(ダブルヘッダーも可)以内とする。4 連投(連続する 4 日間で 4 試合)は禁止する。
- ③ 大会中は 1 日 80 球投球後、翌日投球を休めば 3 日目は 80 球の投球を可とする。
- ④ ①～③を基本原則とするが、打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ⑤ 投球数制限に関して、捕手の制限は設けない。
- ⑥ ボークは投球数としない。
- ⑦ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。

### 投球数制限のケース

|      | 初日         | 2 日目       | 3 日目       | 説明                                                              |
|------|------------|------------|------------|-----------------------------------------------------------------|
| 投手 A | 80 球       | 40 球       | 不可         | 初日に 80 球投げた場合、2 日目は 40 球まで。3 日目は投げられない。                         |
| 投手 B | 80 球       | 休み         | 80 球       | 初日に 80 球投げても、間で 1 日休みが入れば、3 日目は再び 80 球まで投げられる。                  |
| 投手 C | 45 球       | 36 球       | 不可         | 連続する 2 日間で 80 球を超えたため、3 日目は不可。                                  |
| 投手 D | 1 試合目 50 球 | 40 球       | 不可         | 初日 2 試合の合計が 80 球以内であれば、振り分けは自由。                                 |
|      | 2 試合目 30 球 |            |            |                                                                 |
| 投手 E | 75 球       | 1 試合目 15 球 | 不可         | 初日 75 球なので、2 日目は合計 45 球投げられる。2 試合の振り分けは自由。                      |
|      |            | 2 試合目 30 球 |            |                                                                 |
| 投手 F | 40 球       | 40 球       | 40 球       | 1 日の投球数が 40 球以内であれば、3 日間連続の投球は可。                                |
| 投手 G | 1 試合目 30 球 | 40 球       | 1 試合目 10 球 | 1 日の投球数が 40 球以内であれば、ダブルヘッダーでも 3 日間連続の投球は可。1 試合目と 2 試合目の振り分けは自由。 |
|      | 2 試合目 10 球 |            | 2 試合目 30 球 |                                                                 |
| 投手 H | 41 球       | 20 球       | 不可         | 初日に 40 球を超えたため、3 日目は投球(3 連投)できない。                               |
| 投手 I | 70 球       | 1 試合目 50 球 | 不可         | 2 日目 1 試合目の時点で 120 球のため、2 試合目は投げられない。                           |
|      |            | 2 試合目 不可   |            |                                                                 |
| 投手 J | 1 試合目 30 球 | 休み         | 80 球       | 初日 2 試合で 80 球投げても、間で 1 日休みが入れば、3 日目は再び 80 球まで投げられる。             |
|      | 2 試合目 50 球 |            |            |                                                                 |

※黄色マーカー部分は、投球制限により最終打者終了まで投球が認められる場面(超過した投球数はカウントしない)

## 投球数制限を導入した試合の流れ

### 【試合前本部準備】

投球数確認シートを 6 部(各チーム 3 部)用意する。

前の試合から継続したシートがあればそれを使用し、初戦であれば新規でシートを準備する。

前の試合から継続したシートがある場合は、本試合での投球可能数を確認し、1 部ずつを各ベンチに渡す。  
(初戦であれば、渡す必要無し)

### 【試合中の球数管理】

本部担当球団は、本部に球数担当を置いて運用する。

球数担当は、カウンター等で投球数をカウントし、イニング終了時にスコア担当と投球数を照合して、間違い無ければ投球数確認シートの各イニング欄に投球数を記入する。

アナウンス担当は、イニング終了時に、「ただいまの〇〇君の投球数は〇〇球、合計〇〇球です。」とアナウンスする。

球数担当とスコア担当で球数照合が一致しなかった場合は、本部担当代表により、速やかに両ベンチのスコアラーと確認を行う。

イニング途中で投手が交代する場合は、投手交代のアナウンス後、「この回の〇〇君の投球数は〇〇球、合計〇〇球です。」とアナウンスする。

投手の投球数が投球制限まで残り 5 球になった時点で、「〇〇君の投球数、残り 5 球です。」とアナウンスする。

### 【試合終了後】

投球数確認シートの「総投球数」、「累計投球数」、「翌日 or 次試合投球可能数」を確認し、各チーム 3 シートに記入する。(ベンチに渡していたシートがあれば、速やかに回収して記入する)

※ トーナメント大会で負けた場合など、次の試合の予定が無いチームのシートについては、必ずしも記入する必要は無い。

投球数確認シートは、本部スコアと合わせて各チームにサインをもらい、各チームに自チームのシート 3 部を渡す。